

高知大学大学院DCセミナー（理系・文系）

「The fish taxonomy in Taiwan: past, present and the future」

講演者 何 宣慶 博士
Dr. Hsuan-Ching Ho

国立海洋生物博物館 研究員・東華大学 副教授
*専門は魚類分類学、台湾の魚類研究史、深海生物学

2018年11月19日（月） 16:30~18:00
高知大学理工学部2号館6階第1会議室

Hans Ho 博士は、台湾で最も活発に研究を行っている魚類分類学者です。アンコウ目のアカグツ科やフサアンコウ科、アンコウ科を専門としていますが、ウナギ目や様々な海産魚類の新種記載や分類学的再検討を手がけています。数多くの海外の研究者と協力して、台湾周辺の軟骨魚類、ウナギ目やソコダラ科など、いくつかのグループの種多様性を調査し、チェックリストを出版しています。これまでの台湾周辺の魚類相調査と研究の成果を含めて、台湾の魚類とその研究史について紹介して頂きます。*講義は英語で行われます。



担当：遠藤広光 endoh@kochi-u.ac.jp TEL 088-844-8307 (内線 8307)
高知大学理工学部生物科学科 海洋生物学研究室